



社会福祉法人 京都障害者福祉センター

令和5年度第7回理事会が開催されました。

令和5年度第7回理事会が、理事、監事出席の下、3月21日（木）午後2時から、洛南身体障害者福祉会館において開催されました。

理事会では、令和5年度第2次補正予算案について、令和6年度予算案について、令和6年度事業計画案について、（仮称）「京都いたはし学園」新築工事契約の入札実施について、施設長等の人事発令について、役員等賠償責任保険の契約について審議されました。

正職・嘱託員数減への対応・補充見込みについて、ヘルパーの時給と人材確保について、「京都いたはし学園」新築工事契約で別途工事としている厨房設備工事費用の見込みについて質疑が行われた後、原案どおり承認されました。

また、理事長・常務理事の職務執行状況報告について、資金運用計画及び実施状況について、事務局から報告がなされました。

1 決議事項

第1号議案 令和5年度第2次補正予算案について

第2号議案 令和6年度予算案について

第3号議案 令和6年度事業計画案について

第4号議案 （仮称）「京都いたはし学園」新築工事契約の入札実施について

第5号議案 施設長等の人事発令について

第6号議案 役員等賠償責任保険の契約について

2 報告事項

(1) 理事長・常務理事の職務執行状況報告について

3 その他報告事項

(1) 資金運用計画及び実施状況について



令和5年度第3回評議員事業報告会が開催されました。

令和5年度第3回評議員事業報告会が、評議員、理事、監事出席の下、3月28日（木）午後2時から、京都府立総合社会福祉会館において開催されました。

評議員事業報告会では、洛南エリア居宅介護事業所の新設及び支援センター「らくなん」事務所の移転について、令和5年度下期の業務執行状況について、令和5年度第2次補正予算について、令和6年度予算について、令和6年度事業計画について、事務局から報告がなされました。

支援センター「らくなん」の移転約1箇月の課題について、洛南エリア居宅介護事業所のヘルパー確保について、処遇改善加算の確保見込みとベースアップへの反映について、通所者数及び給付費収入において前年度増減の多い施設について、うずまさ学園・太秦デイ運営主体移管後の評価について、新型コロナ対応を踏まえた今後の感染症対策について、活発な質疑が行われました。

その他、施設長の人事発令について、資金運用計画及び実施状況について、令和6年度評議員会・事業報告会及び理事会の年間開催予定について、事務局から報告がなされました。

報告事項

- 1 洛南エリア居宅介護事業所の新設及び支援センター「らくなん」事務所の移転について
- 2 令和5年度下期の業務執行状況について
- 3 令和5年度第2次補正予算について
- 4 令和6年度予算について
- 5 令和6年度事業計画について
- 6 その他
 - ア 施設長の人事発令について
 - イ 資金運用計画及び実施状況について
 - ウ 令和6年度評議員会・事業報告会及び理事会の年間開催予定について



(5) 兼職命免

長原一博	洛南居宅準備室長
竹内竜也	伏見エリアセンター長
大槻晶彦	伏見授産所長・伏見社会福祉総合センター管理者
北川貴啓	ふしみ寮所長
高橋憲二	やましな学園園長・山科デイ所長・山科合同福祉センター管理者 (兼職免) ほっと所長・楽所長・すてーじ所長・あんど所長
井上光典	山科会館副主任
西岡容子	山科会館副主任
政田美由紀	ほっと所長・すてーじ所長・あんど所長 (兼職免) 山科デイ所長・山科合同福祉センター管理者
栗崎宏昭	ほっと副主任



SST プログラム グループ合同討論会

洛南会館の多機能型事業では、毎月1回、5グループに分かれてSSTプログラムを実施しています。SSTとは、Social Skills Training（ソーシャルスキルトレーニング）の頭文字で、社会で人と関わりながら円滑な人間関係を保つために欠かせないスキルを身につける訓練のことです。

先日、SSTで同じテキストを使用している3グループ合同、総勢7名で、初めての討論会を実施しました。

当日はいつものグループメンバーで、テキストを参考に以下のお題に対し、「賛成派」、「反対派」、「判定員」の役割をくじ引きで決めました。



- ① 大人になったら働かなければならない。
- ② 嫌いな人は無視をする。
- ③ 仕事中に雑談をしてもよい。

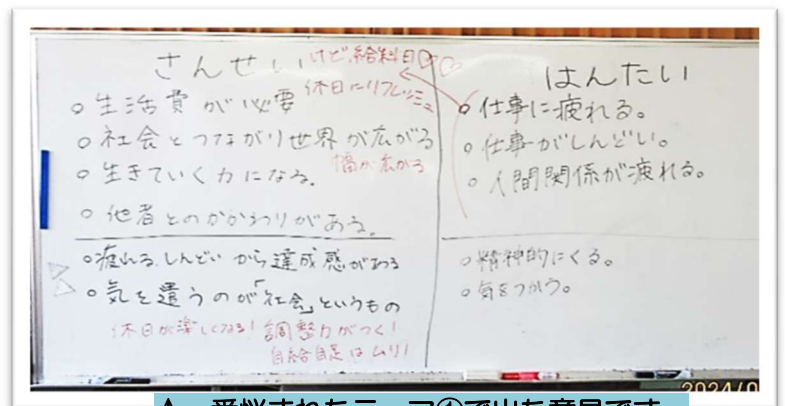


3つのお題は前月のSSTで、個別ワークとして取り組まれたものです。

賛成反対がくじで決まるので、各グループの皆さんには前月に取り組んだ自分の意見とは反対の意見も考えてみる、ということに挑戦していただきました。ここで大切なことは、「感情的にならず、冷静に、他者に納得してもらえらる意見を考えて、わかりやすく伝える」ことです。

グループで悩みながらも、みなさん熱心に、かつ他者に配慮した建設的な議論ができたと感じています。開始前は緊張したご様子の方も多かったですが、終わってみたら「またやってみたい!」「自分と反対の意見を考えるのが初めてで面白かった」とのお声もいただいています。

今年度もテーマを考えて、合同の討論会か、またはディスカッション（いい方向に向かうための議論）形式で意見を伝え合う機会を作りたいと考えています!



(洛南身体障害者福祉会館 多機能型事業：安江 朋香)

伏見エリアTOPICS 【ふしみ学園】

「京セラギャラリー」展を開催しました！

京セラギャラリー2024年冬季特別展

「宇宙の意思」-アトリエやっほっ!!-

2月10日（土）から始まった展覧会ですが好評のうちに3月10日（日）に無事終了しました。

1か月の期間は長いようでしたが、終わってみるとあっという間でした。皆さんご覧になられましたか？



今回はその準備から開催期間の様子をご紹介します。

会場はふしみ学園から車で5分にある、京セラ本社ビルの1階にある京セラギャラリーです。壁面が3メートルと高いので大きなサイズの作品をぜひ飾りたいとメンバーは今まで最大サイズの作画に挑戦しました。

国保さんの100号サイズのモチーフは「ひまわり」です。その画面の大きさに始めは圧倒されているようでしたが、描き始めると大きなストロークで大胆に描き進まれて、1か月ほどで完成しました。



日吉さんも会期が始まる前日までかかって50号の「アマルフィ」を完成されました。どちらの作品も素敵な仕上がりで来場者に大好評でした。

今回は9人の作品が展示されましたが、初めての地元での大きなギャラリーでしたので、活動してきた15年間に生まれた傑作と最新作を展示紹介しました。

この期間中には京セラ社員向けのイベントや、伏見区役所の企画で区内在住の小学生と保護者を対象にしたワークショップが開催されて、18組にご参加いただき大盛況でした。



会期中は、東京などの遠方からも見学にお越しいただきました。当法人の他事業所からも、連日お越しいただきました。本当に有難うございました。

会場入り口にフォトスポットを設置し、ワークショップの最後

には参加者全員で記念写真を撮りました。

この展覧会で地元の大企業とつながりができ、そして私たちが目指している地元での知名度も少し高めることができたと思っています。



木村全彦さん、小寺さん、西村さんが関連イベントに参加されて、京セラ社員や地元の小学生と交流ができたことが一番良かったです。

次回？また開催されましたら、ぜひお越しください！！

Eテレ「あおきいろ」に出演します。

習慣的に繰り返す、日常の行動(ルーティン)から生まれる音を丁寧に紡ぎ、音楽として届ける試みが「ROUTINE RECORDS」です。一昨年、この企画展が金沢21世紀美術館で開催されて、勝山さんと吉田さんが参加しましたが、今回はEテレの人気番組「あおきいろ」に登場です。昨年2日間にわたってアトリエや屋上での撮影が行われました。



そしてこの4月からいよいよTV放映が始まります。1ヶ月ごとに1人のルーティナーの放映となり、4月は勝山さん、5月6月はやまなみ工房の作家、7月が吉田さんの予定です。

「いないいないばあっ！」の次の時間帯です、ぜひご視聴ください！

「あおきいろ×ROUTINE RECORDS」

勝山さん：「くりかえしのうた①」4月3日,11日,17日,25日

吉田さん：「くりかえしのうた④」7月3日,11日,17日,25日,31日

最終版の放送：「くりかえしのうた」が8月にも放映されます。

これからの展覧会

◎「Goozenのぐーぜん展」

【日時】2024年4月13日(土)~5月5日(金)

【場所】Goozen(横浜・弘明寺)

【出展作家】南保孝

◎「小寺由理子展覧会」

【日時】2024年5月10日(金)~31日(金)

【場所】ハンケイ5mショップ

(京都市・からすま京都ホテル1F)

※ その他情報解禁前の大きなイベントもあります、SNSでチェックください。

(ふしみ学園：中島 慎也)



フラダンス講習会を実施しました！



3月4日（月）山科身障会館では初の試みとなるフラダンス講習会を実施しました。

フラダンスの講師をお招きし、ハワイアンミュージックに身を委ねながら、ゆら～りゆらり♪とみなさん各々でフラダンスを体現されていました。椅子に座りながらできる内容なので、車椅子の利用者さんも安心して楽しまれていました。地域の方の参加もあり、フラダンスを通じてよい交流になったと思います。



山科身障会館ではフラダンス講習会の他に、「笑いヨガ」、「パステルアート講習会」などの新しい教室を増やしていています。利用者さんそれぞれが好きな活動を選択し、新たな興味や趣味を持ってもらえるきっかけになればと思っています。色んな教室があって楽しそう!! と皆さんに感じてもらえるような場所にしていきたいですね。

（山科身体障害者福社会館生活介護：奥村 友章）